令和２年度　広報委員会　活動報告

■委員名	委 員 長：西口久代 副委員長：大迫しのぶ 委　　員：森田康子・石田貴美子・生田美苗・三崎修子・山口真依・福原智昭・ 八尾雅子・西田珠貴・木谷　恵・吹田匡子・古川さと
■開催回数	7回
■活動目標	1．看護協会活動に幅広い理解を得るとともに、看護職・県民に対して広く情報提供を行うなど会員サービスの一層の向上を図り、重点方策である組織力強化を推進するために効果的な広報を実施する。 2．新規入職者の入会につなげるとともに、キャリア支援、離職防止に向け、新入会員研修を開催する。 3．会員等からの意見を聴取し活動に活かす。
■活動内容	1．協会活動、特に重点事業を効果的に広報する。 1）「看護ひょうご」（年4回発行　発行部数　約33,000部/回） 通年掲載している活動・行事報告の他、新型コロナウイルス感染症の最新情報や現場での対策などの取り組みについての特集を記事に取り上げ、コロナ禍において感染対策を工夫しながら開催した総会、看護大会、研修会等今年度ならではの情報を掲載、表紙にも工夫を凝らした。 2）「協会ガイド」（年1回　3月発行　50,000部） 経費削減の観点から発行を2年に1回とし、昨年度作成したガイドをリニューアルした。会員入会時に配布する他、大学、専門学校、高校等への出前事業で活用。 3）県民向け広報紙「ささえ」 「ACP」をテーマに作成。新型コロナウイルス感染症によりまちの保健室、看護の日記念行事、看護大会等県民を対象とした行事が中止、規模縮小となり、配布の機会が減少した。 4）ホームページやSNSを活用し、各事業や最新情報の発信に努めるとともに、ホームページの活用（見直し）により会員サービスの向上を図った。 5）「ナース川柳“ひょうご”」の充実を図り、今年度は感染症対策にも触れ、看護職に送るエール等についても募集対象とした。 応募者数　690名　（前回　635名） 応募作品　1,124句　（前回1,113句） 2．新規入職者の入会促進、離職防止を図るため、毎年開催している「新入会員研修」については新型コロナウイルス感染症拡大状況により、今年度は中止とした。

■活動の評価	1．看護ひょうごでコロナ特集号を発行し、医療機関、保健所、訪問看護ステーション、介護施設などでの看護職の活動状況について掲載にした。表紙についても看護職にエールを送る県民のメッセージをデザインするなど工夫。参考になったという意見があった。 2．協会ガイド、県民向け「ささえ」については、コロナ禍で配布の機会が減ったが、できる限り有効な活用となるよう工夫した。 3．新卒看護師の離職率低下に向けた新入会員研修については感染症拡大防止により中止とした。新規入会者の入会率が低下傾向にあることから、強化していく必要がある。
■今後の課題	1．看護ひょうごの見直し 2　ホームページの充実 3．新卒看護師離職防止対策の強化